

『当院職員が新型コロナウイルスに罹患した件 についてのご報告とお願い』

新型コロナウイルス（以下新型コロナ）感染が世界的に猛威を振るっています。当院職員に新型コロナ感染が確認されたのはご存知の通りです。今回の感染に当たって、当院での対応と現在の状況について説明します。

2020年3月2日、当院職員が新型コロナ陽性と判定され、当院は高知市保健所の現地調査と指導を受けました。幸い、当該職員は直接患者に接触しない業務に従事しており、患者さんへの感染リスクはほぼないと判断され、通常通りの病院運営を行う許可を得ました。濃厚接触者とされた7名の職員は、後日、全員新型コロナ陰性であることが判明しています。病院名の公表については、患者さんやご家族のご理解とご協力を得る必要があること、高知県全体のことを考え不要な混乱を回避する必要があること、そうした判断から公表しました。

その後の対応としては、マスクや手指消毒を含めた標準予防策の徹底、入院患者さんへの面会制限、外来患者さんは病院入り口で新型コロナ感染が疑われれば一般の患者さんと違う経路を通過して別室で診察、会計、ご帰宅いただく特別対応を行っています。

現在、2次感染が起こりうる2週間（新型コロナの潜伏期間）が過ぎましたが、当院での新規感染はありません。今回の新型コロナ発生については、ここで一区切りすることができると考えております。ただ、今後も、新型コロナの患者さんの来院、当院職員や当院職員家族の新型コロナ感染の可能性は常に考えなければなりません。標準予防策の徹底や上記の対応は引き続き行います。

お願いがあります。当院職員のお子さんが保育園で他の子供達と違う扱いを受けたり、当院職員の親族がデイサービスを断われたり、当院職員が『ばい菌』と揶揄される事例が発生しています。この記事を読んでいただき、どうぞ正しい情報を持って当院職員並びに当院職員家族にご配慮いただければ幸いです。

今、新型コロナはどこにでもいると考えなければなりません。皆さん、手洗い、うがい、咳エチケット等できる限りの自己防衛、自己対策をどうぞ宜しくお願いいたします。

令和2年3月13日・細木病院